

「白紙の未来」のその先へ！第一回イベントレポート

2021年6月3日

主催代表 ムラコ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

先日は、当方主催のオンリーイベント「白紙の未来」のその先へ！へご参加くださりまして誠にありがとうございました。何度も繰り返しになってしまい申し訳ございませんが、大盛況のうちにイベントを終了させることができたのは、本当に参加者の皆さまのおかげです。本当にありがとうございました。

さて、あまり堅苦しい形ばかりですと読む気が失せてしまうかと思っておりますので、ここからは肩の力を抜きながら、今回のイベントについてのご報告をさせていただきたいと思っております。

=良かったと感じているところ=

- ①イベント内でたくさんの交流が生まれた
- ②自分の予想よりも遙かに良いタイミングで鑑賞会及びイベントを開催できた
- ③ただの展示や頒布のみのイベントよりも絶対らしさを感じるイベントになった
- ④たくさんの参加者の方に盛り上がりを体感いただけた

=反省及び次回に向けて改善すべきところ=

- ①想定以上に大規模なイベントになった
- ②交流や鑑賞会に使用するツールの導入が間に合わなかった
- ③自分自身に余裕がなかった

ここからは、上記についてひとつずつ、コメントさせていただきたいと思っております。

また、まとめだけが読みたいという方は最後のまとめ部分まで読み飛ばしてください。

成功①イベント内でたくさんの交流が生まれた

アバターがきっかけとなって会話が生まれたり、スクショを撮影するきっかけが生まれたり、私が思っていたよりも交流の機会が発生していたのではないかと感じています。

また、オリジナルのアバターで参加してくださる方もいて、そこでもスクショを撮影する機会が生まれ、普段交流のない方ともお話できるきっかけになったと思っています。

結果的に、絶対のキャラクターに似せたアバターを配布したことは大成功だったと体感しました。

成功②自分の予想よりも遙かに良いタイミングで鑑賞会及びイベントを開催できた

イベント開催を申し込む際、本誌の状況から計算して、五月末頃であればまだ最終回は迎えていないだろうと判断し、この期日で申込みをしていました。

(申込みした時点から五月末までの本誌掲載ペースから予想できる話数は十回ほどだったので、さすがにあと十回では終わらないであろうと考えていました)

まさか、イベント開催前の本誌で「白紙の未来」へ進むことが難しいかもしれないメンバーが「白紙の未来」へ進む展開になるとまでは予想していませんでしたが、その本誌のおかげで、

鑑賞会では改めてその感動を皆で分かち合うことができたと感じています。

成功③ただの展示や頒布のみのイベントよりも絶チルらしさを感じるイベントになった

アバターを利用してくださった皆さまのおかげで、意図せずコスプレ会場のような雰囲気作りができ、また、アバターの切り替えが上手くできない現象を催眠と呼んだり、皆さまのおかげで、リアルイベントにはない、絶チルらしさを備えたイベントになりました。

成功④たくさんの参加者の方に盛り上がりを体感いただけた

楽しかった！というお声をたくさん聞くことができましたし、積極的に楽しもうという姿勢で臨んでくださった参加者の方が多かったのも、私だけでなく、参加者の皆さまにも肌で直接盛り上がりを感じていただけたのではないかなと思っています。

ここから下記は、主催の言い訳も含めたまとめになります。言い訳は必要ないから改善を、という方はまとめまで読み飛ばしてください。

反省①想定以上に大規模なイベントになった

鑑賞会に向けたアンケートの回答数十件という数値、また、主催アカウントのフォロワー数、そして五月頭頃までのサークル申込みの状況も含めて考慮した結果、当初の想定がサークル申込みが 10sp 程度、イベント参加者が 15 ～ 30 名程度、鑑賞会参加者は 5 ～ 10 名程度としていました。

しかし、実際の数値はサークル申込みが 27 件で約 3 倍、イベント参加者がピクトスクエアに表示される数値を信頼すると総勢 133 名で想定約 4 ～ 9 倍、鑑賞会の参加者も約 20 名前後、と結果的に一人で運営できない規模のイベントとなっていました。

私自身、なぜ、最終的にそこまで大きなイベントとなったのかの検証ができておりません。というより、全く予想外の出来事で、小さくのんびりやろうと構えていたのがイベント開催一週間前あたりからあれよあれよとイベントが大きくなり、想定外のスペース拡大にまで至り、本当に目が回るようでした。何がきっかけでそこまでの規模になったのか本当によくわかっておりません。

ひとつだけ考えられるのは、この作品がたくさんのファンに愛されていて、そのおかげでここまでの規模に成長した、ということですが、真相は本当にわかりません。

コツコツ宣伝活動は続けていましたが、あまり効果を得られる活動ではなかったのではないかと個人的には感じているので、これがあったからイベントが大きくなったという要因をご存じの方は主催に教えてくださると幸いです。

とにかく、こんな大規模になるとは思ってなかったのもひとりで運営全てをこなしていましたが、次回開催に向けてサポートスタッフを募ります。

反省②交流や鑑賞会に使用するツールの導入が間に合わなかった

これも、①と絡む内容になるのですが、ピクトスクエアのチャット機能は人が増えると機能しないという噂は耳にしており、当初から鑑賞会での交流に使う外部サービスの検討はしてありました。ただ、想定していたのが少人数ですし、読みも甘かったため、ピクトスクエアでの交流で何とかなるだろうと踏んでおりました。

しかし、イベント開催一週間前あたりから、これはちょっとヤバそうだと、と外部サービス

の必要性を感じ、利用するサービスの検討を開始したのですが、既にイベント開催一週間前であることから、ログインや会員登録が必要なサービスは当日までの周知徹底が間に合わないかと判断し、ログインなし会員登録不要の掲示板サービスをレンタルするという選択肢しか選ばせませんでした。

この件でご不便をお掛けしたのは準備期間の少なさ、また、主催の読みの甘さが招いた結果です。次回に向けて、Discord の運用、またはそれに変わる何かのサービスを採用したいと考えています。

反省③自分自身に余裕がなかった

この項目に関しては本当に言い訳ばかりになってしまい申し訳ないのですが、まず、自身の原稿進捗がかなり遅れてしまったこと、そして緊急事態宣言で息子の習い事が休止となり当日ひとりきりになれるはずだった時間がなくなってしまったこと、の二つにより、主催自身の余裕が全くなくなってしまったと反省しております。

後者はもうどうしようもないことなのですが、せめて鑑賞会の時間だけは死守しようと公園へのお出掛けを提案したものの鑑賞会の時間前に帰宅してしまい、息子と共に鑑賞会に参加するという、なかなか主催として集中できない環境での参加になり、本当に皆さまには申し訳なかったです。

また、前者も自身の力不足所以なので、言い訳にしかならないのですが、原稿進捗が遅れたために、主催としての作業をいくつか諦めたことがありました。

以前から何度かピクトスクエアのイベントには参加していたのですが、少しだけ取っつきにくいと感じる部分があったため、そこを解消するためのユーザーガイドを作成しようとしていたことを諦めたり、サークル参加の方々向けに見栄えやスペースの整え方のガイドを作成しようとしていたのも諦めたり、主催として中途半端なサポートしかできなかったと反省しております。

本当は、イベント会場の背景も変更できるので、オンリーイベントらしい装いにしたいという思いもあったのですが、今回に限っては、申込み締め切り前日のスペース拡大など想定外のことも起きていたので、背景はデフォルトのままでも良かったかとも感じています。

次回に向けて、今回準備したことを下地に、より皆さんに楽しんでいただくにはどういったフォローが必要か見直して、準備を進めていきたいと思えます。

まとめ

次回に向けて、いくつかの改善点はありますが、概ね大成功だったのではないかと感じています。楽しかった、という皆さんのお声が聞けて、本当に良い経験をさせていただき、皆さまには本当に心から感謝しております。

まず、一番に取り掛かることとして、次回も同規模になる可能性を考え、主催のサポートをしてくださる方を募りたいと思っています。改めて Twitter やサイトで呼び掛けさせていただきますので、その際は情報の拡散にご協力いただければと思います。

また、次のイベントも皆さんに楽しんでいただくために、今回の反省を活かして新しい企画や二回目の鑑賞会を準備してまいりますので、次回の「白紙の未来」のその先へ！もよろしく願いいたします。

報告は以上です。

これから季節は夏へと向かってまいります。皆さまお身体に充分気を付けてお過ごしくださいませ。

最後までお読みくださりましてありがとうございました。